45 01 09 01 03 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月21日(木)

事務事業	消防分署耐震化事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4507
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政施策分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	消防分署の耐震化計画				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	市内の消防施設の内、川本分署、藤沢分署、岡部分署及び豊里分署は老朽化が著しく、耐震補強も実施していない状況である。このことから、市民の安全と安心を守るため、地域の消防活動拠点である消防分署を建替えによって耐震化することで、地域の消防活動拠点を強化するものである。
目的 ※何のために	市民の安全と安心を守るため。
対象 ※誰・何を対象に	川本分署、藤沢分署、岡部分署、豊里分署
手段 ※どのように	川本・藤沢分署の建替えは、令和元年度の完成に向け、岡部・豊里分署の建替えは、令和２年度の完成に向け必要な総合調整を行う。
成果 ※何を求めるか	地域の災害活動拠点を強化するものである。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	消防分署耐震化事業	900,396,056
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 消防分署の耐震化	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			・設計業務（川本・藤沢） ・用地測量（豊里） ・用地購入（川本・豊里）	・設計業務（岡部・豊里） ・建設工事（川本・藤沢） ・監理業務（川本・藤沢）	・建設工事（川本・藤沢） ・建設工事（岡部・豊里） ・監理業務（川本・藤沢）	・建設工事（岡部・豊里） ・監理業務（岡部・豊里	・旧川本分署解体設計	
事業費	予算（現額）		37,152,560	766,962,000	1,542,955,200	450,522,000	1,759,000	
	決算額		35,071,735	250,026,444	900,396,056	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	30,100,000	708,900,000	944,300,000	387,800,000	0	
		他特定財源	0	0	10,088,000	9,502,000	1,686,000	
		一般財源	4,971,735	0	0	53,220,000	73,000	
人件費	従事職員数(人)		0.85	1.15	1.15	1.15	1.15	
	人件費相当試算 ※1		6,720,950	8,949,300	9,040,150	9,370,200	9,370,200	
			0	0	0	0	0	
（総事業費試算）			41,792,685	717,849,300	963,428,150	459,892,200	11,129,200	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	耐震化工事進捗率	目標値	%	0.00	30.00	70.00	100.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	30.00	70.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		消防分署の耐震性を確保するため、消防分署の耐震化計画の進捗に合わせた目標値を設定							
		実績（成果品等）により把握									
■	成果指標１	分署の耐震化率	目標値	%	0.00	0.00	50.00	100.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	50.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		災害時に消防分署機能を維持するため、４分署の耐震性を確保することを目標値とする。							
		耐震済の棟数／全棟数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 令和元年６月末に川本分署及び藤沢分署の建築工事は計画どおり完了することができたまた、岡部分署及び豊里分署の建築工事着工に伴い、各支会自治会長会議等で説明会を実施し理解を得ることができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 令和元年８月から新たな川本分署及び藤沢分署で運用を開始することができた。これにより分署の耐震化率は向上し、地域の消防活動拠点機能の充実強化が図られた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	施設係長　飯野昌栄

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	令和元年度には、川本分署及び藤沢分署が完成し新築移転となることから、広報ふかややホームページ等により市民周知を図るとともに、市民を対象とした内覧会等を実施することで消防業務に対する理解と防火・防災意識の向上を図る。
達成状況 及び その効果	川本分署及び藤沢分署の新築移転に伴い、広報紙やホームページで市民周知を図ることができた。また、新消防分署での運用開始前に市民を対象とした内覧会を実施し、消防業務に対する理解と防火・防災意識の向上が図られた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防分署耐震化事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4507

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

消防分署の耐震化については、令和元年度に川本分署と藤沢分署は既に完成し運用を開始しており、地域の消防活動拠点機能の充実強化を図ることが出来た。岡部分署と豊里分署は令和２年度完成予定で、工事は当初の計画どおりに進んでいる。新分署が完成し移転後の既存分署の利活用について検討するとともに、関係各課と今後調整する必要がある。

評価者	次長兼消防総務課長　江原　正明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

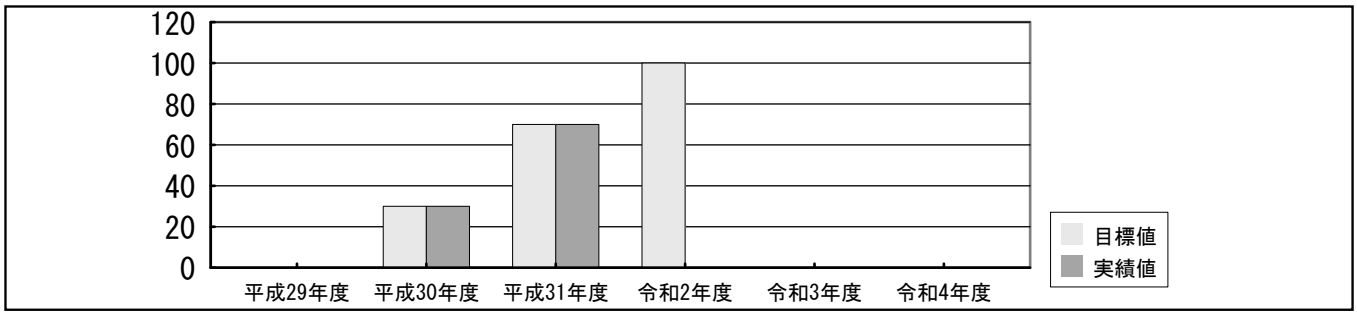
改善・改革案	旧川本分署の土地・建物の利活用について、廃止施設等財産活用検討フローに基づき検討を行う。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

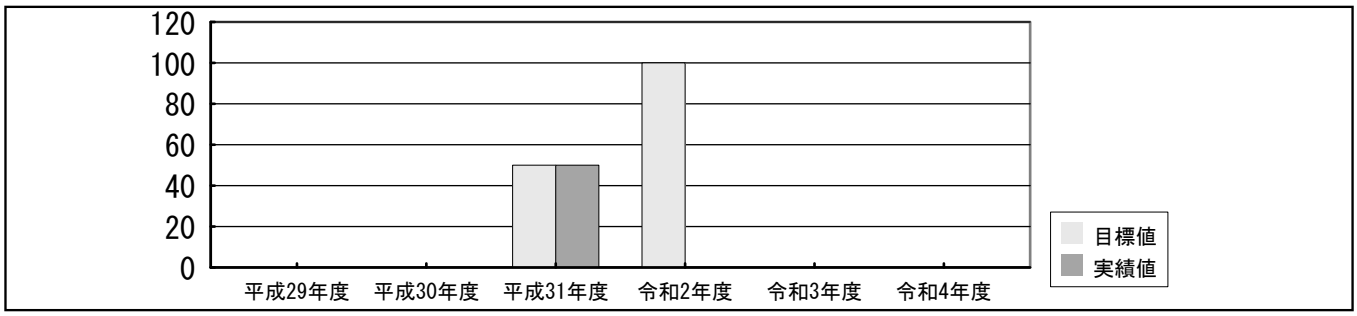
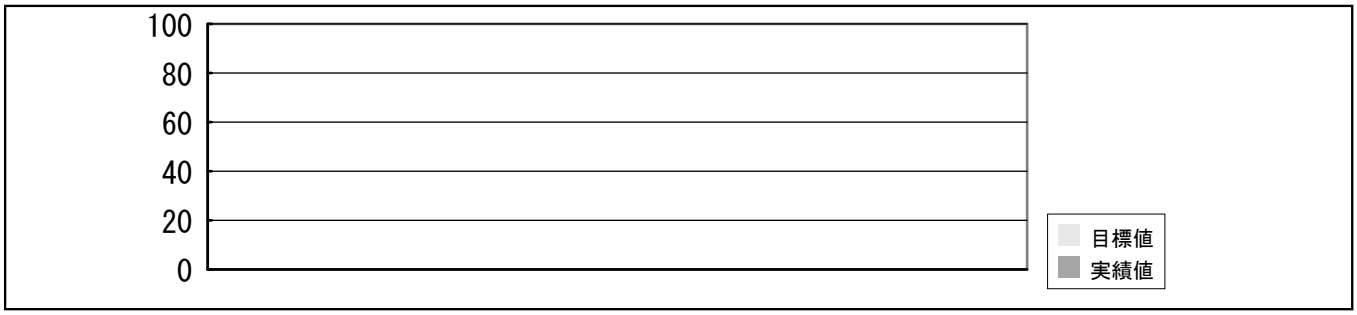
今後の課題	新築移転した旧消防分署の活用方法については、具体的な活用策や時期が不明確なため、関係各課と協議し事業スケジュールを決定する必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	耐震化工事進捗率



区分	成果指標１	指標名	分署の耐震化率



区分		指標名